



CQM(超短期経済予測モデル)

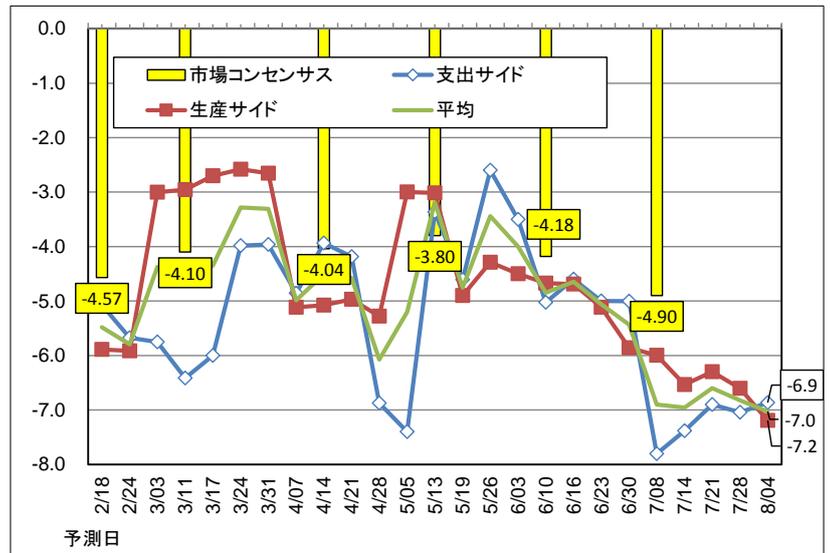
稲田義久 (APIR 数量経済分析センター長)  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2014年8月5日)

## ポイント

- ▶今回予測で更新されたデータは、民間最終消費支出、民間住宅、民間企業設備、民間企業在庫品増加、公的在庫品増加及び雇用者報酬の予測値に影響を与える。
- ▶6月の消費総合指数は2ヵ月連続の前月比プラスとなったが、実績値は事前予測を下回ったため、4-6月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正された。
- ▶6月の建設工事費予定額は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質民間住宅の予測値は先週から幾分上方修正された。
- ▶6月の最終需要財在庫指数は4ヵ月連続で拡大しており、気になるところである。結果、4-6月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から上方修正された。
- ▶今週(8/5)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率-6.9%と予測。先週の予測から幾分上方修正。実質民間住宅及び民間企業在庫品増加の上方修正幅が実質民間最終消費支出の下方修正幅を上回ったためである。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2014年4-6月期(%, 前期比年率換算)



## <気になる民間企業在庫品増加の上方修正>

今回更新されたデータは、7月の食料安定供給、6月の鉱工業指数、毎月勤労統計、労働力調査、消費総合指数、製造業部門別投入・産出物価指数、建築着工統計及び5月の建設工事費デフレーターである。これらは、民間最終消費支出、民間住宅、民間企業設備、民間企業在庫品増加、公的在庫品増加及び雇用者報酬の予測値に影響を与える。

6月の消費総合指数は前月比+0.7%上昇。2ヵ月連続のプラスだが、実績値は事前予測を下回ったため、4-6月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正された(前期比-4.2%→同-4.4%)。

6月の建設工事費予定額(居住専用)は前月比+4.5%増加し、2ヵ月ぶりのプラス。実績は事前予測を上回った。結果、4-6月期の実質民間住宅の予測値は先週から幾分上方修正された(前期比-11.7%→同-10.9%)。6月の資本財出荷指数は前月比-0.5%低下した。4ヵ月連続のマイナス。実績は事前予測を小幅下回ったが、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から変化がなかった(前期比-0.5%→同-0.5%)。

6月の最終需要財在庫指数は前月比+5.4%と4ヵ月連続のプラス。消費増税の反動から最終需要財在庫は残高が拡大しており、気になるところである。実績は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から上方修正された(-3.845兆円→-2.930兆円)。

今週(8/5)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率-6.9%と予測。先週の予測(-7.0%)から幾分上方修正となった。実質民間住宅及び民間企業在庫品増加の上方修正幅が実質民間最終消費支出の下方修正幅を上回ったためである。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690